

横須賀市立長浦小学校



学校便り

ながうら

弥生3月号

平成29年(2017年) 2月23日(木)

発行 学校長 大西 正康

長浦小学校 学校教育目標

1. 自ら考え工夫する子
2. 思いやりのある子
3. 礼儀正しく元気な子

ひ かんざくら
緋寒桜、咲く

本校低学年広場沿いに植えられている緋寒桜が、いよいよ花を開き始めています。毎年、春本番になる前に咲きだし、見る人の目を楽しませてくれます。俯きかげんの花の風情と色合いがとても素晴らしいので、通りかかった折りにはどうぞご覧ください。



さて、今年度も残すところあと一月となりました。インフルエンザの大波も収束し、子どもたちは大変落ち着いた学校生活を送っています。3月17日に迫っている卒業式に向けての諸準備や練習も始まりしました。本校の卒業式には、児童全員が参加します。自分たちの卒業式を迎えるまでに、すでに5回に渡り先輩たちの巣立ちゆく姿を見ていることとなります。

その間、それぞれの学年なりの思いを持ちながら参列していることでしょう。そしていよいよ6年生となり、『今年こそ、自分たちの番だ。』となった時の心の高揚と緊張感は、なかなかのものかと想像します。今年もまた、咲き誇る緋寒桜のような素晴らしい卒業式を迎えたいと思います。

学校内外日誌

① 6年出前教室 二題

- * 租税教室 2月 9日 (木)
- * 自分探しの旅 2月14日 (火)

6年生が、出前教室として外部の方にお話をさせていただく機会が2回ありました。1回目は、租税教室。講師は本校

P T A会長の桜井健さん。去年に引き続き、切れのいいお話で経済の最前線でのご経験談も交えながら、租税のA B Cをわかりやすく教えてくださいました。



2回目は、総合的な学習の時間『自分探しの旅に出よう』に、映画監督の錦織良成さんをお招きして、映画『白い船』の鑑賞と講話をしていただきました。情熱的な語り口で、映画制作の楽しさや苦勞などを存分にお話くださいました。

ご存知の通り、お二人とも本校の保護者でもあり、子どもたちにとってこのような機会は大変有意義なことで、貴重な素晴らしい時間だったと思います。今後も、さらにいろいろな方のお話を伺うことができれば嬉しく思います。誠にありがとうございました。



② 6年生を送る会 2月22日 (水)

毎年、卒業を前にした6年生と在校生とが交流し、別れを惜しむ貴重な時間となるく6年生を送る会が本校体育館で開かれました。たてわりゲーム、〇〇ベスト7など長浦小ならではの演出を楽しみました。1年から5年生までが、それぞれ一生懸命心を込めて準備し、この日を迎えた様子が伝わるひとときとなりました。



③ <読み聞かせ集会>の一年

図書ボランティアの皆さんによる<お話し会>は、本校ではすっかり定着し、子どもたちもとても楽しみしています。それに続け、と去年から職員による<読み聞かせ集会>を月1回催し、子どもたちに本の世界への誘いをするようにしています。今年はざっと下表の通りですが、本校では教員以外にも事務職員や給食調理員も参加し、職員一丸となってこの会を開催できたのが、何より良かったと思っています。職員による朗読の工夫はさすがで、一人ひとりの個性が滲み出ていて、子どもたちにも本の世界の楽しさをよく伝えることができたと感じます。

月	読んだ本	読んだ職員
6月	『おれはティラノザウルスだ』	・曾我＋大西
7月	『あいさつ番長』	・櫻田＋川口＋大西
9月	『コロボックル、空をとぶ』	・小田部＋大西
10月	『みんな だいじな なかま』	・小島＋新倉＋高祖＋大西
11月	『にゃーご』	・眞田＋長谷川＋大西
12月	『賢者の贈り物』	・佐藤＋田村＋大西
2月	『かえるをのんだととさん』	・大槻＋深本＋大西
3月	『 ? 』(お楽しみに)	・加藤＋佐々木＋大西

~~~~~

#### ・今後の変更点（次期学習指導要領より） その①・

新聞等にも掲載されていましたが、次期学習指導要領の改定案が公表されました。その中で、とりわけ注目すべきは、<英語教育の早期化>です。下記の通りです。また、今後の動向につきましては皆様もご注目ください。

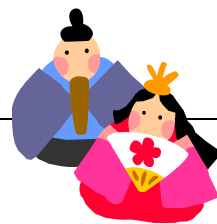
\*平成30年度（2018年度）から

- ・3, 4年生 外国語活動 週1時間
  - ・5, 6年生 英語活動 週2時間（教科として・評価も行う）
- が、実施されます。

\*このため、3～6年生は週1時間ずつ授業時間が増加します。学校の日課表の変更が必要となってきます。来年度、お知らせいたします。

## 《 3月 主な予定 》

\* 雑祭り 3日(金) \* 春分の日 20日(月)



- ・ 2日(木) ・ 委員会活動<最終>
- ・ 3日(金) ・ 懇談会<1~5年>
- ・ 6日(月) ・ 朝会
- ・ 8日(水) ・ 代表委員会 ・ 銀行引落日
- ・ 9日(木) ・ 読み聞かせ集会 ・ 10日(金) 市立中卒業式
- ・ 15日(水) ・ 給食終了
- ・ 17日(金) ・ 卒業式<第140回>
- ・ 24日(金) ・ 修了式
  
- ・ 25日(土) ・ 春休みに入る。(~4月4日)

---

- ・ 4月
- ・ 5日(水) ・ 始業式・着任式・入学式

## 校長室より

— 昭和29年 —

新年のある会合で、年配の司会の方が、『昭和29年の・・・』と、平成と昭和を言い間違えて進行していた。よくあるミスだが、誰も注意しなかったのか、最初から最後まで、昭和のままだった。私はすぐに気がついてしたが、全く違和感なく耳に入っていて、このままでいい、とすら思っていた。なぜならば、昭和時代に戻りたいからである。

私は典型的な『昭和30年代ファン』だ。映画『三丁目の夕日』は、泣きながら繰り返し見て、追体験してはその余韻に浸っている。自分の好きな時代、楽しかった思い出、素敵な出来事・・・、記憶の底に沈んでいた快き思い出の数々をそのままにせず、再び味わおうとすることは決して悪いことではない。精神衛生上、むしろ大変良いとさえ思う。

それにしても、昭和29年、か。私が生まれる2年前。戦後の復興がようやく一段落した頃だ。まだまだ貧しいが間違いなく上り坂で、人々は希望を持って日々暮らしていた。そして昭和30年代に入り、日本は一気に高度経済成長時代に入る。東京オリンピック、夢の超特急(新幹線のこと)、テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫・・・、先の楽しみがいくつもあり、それが人々の目標となっていた。貧しいが、目標を持って、みんなで明るく元気に頑張っていた時代、それが昭和30年代であり、私が好きな理由もそこにある。

さて、数十年後、我々が今生きるこの『平成20年代』を人々はどう振り返るだろうか。私のように、この頃の映画や写真を何度も見て、懐かしの涙を流す人は、いるだろうか。興味のあるところである。